

磯遊びする場所残したい

Takayoshi Oizaki
追崎 臣由 さん
姫島村出身、30歳。姫島村青年団団長。高校卒業後、スカーナダブリーでの勤務を経て、2008年に姫島村役場入庁。昨年から青年団団長。

あいさつだけでも癒やしに

Kana Sonoda
蘭田 花奈 さん
熊本県出身、23歳。JTB九州大分支店営業課。西南学院大学を卒業後、同社に入社。一般法人、組織団体の営業を担当し、添乗業務も行っている。

姫島は消費者に求められる地域

Wataru Adachi
足立 渉 さん
大分市出身、36歳。トキハ本店食品部塩干・生鮮3品バイヤー。大学卒業後、トキハ入社。大分一村一品東京営業所に5年出向し、現在に至る。

「また来たい」島にしたい

Chiyori Anzai
安西 千代里 さん
福岡県出身、40歳。安西旅館女将を務める傍ら、姫島女将の会(きよれ)会員。結婚を機に夫の美家である姫島へ移住し、安西旅館の4代目女将になった。

働く場所をつくるのが役目

Koki Kinomura
木野村 光紀 さん
姫島村出身、42歳。木野村ヤンマー商会社長。姫島ビーチサッカーフェスタ、姫島観光LLP島の風、姫島味の蔵などを立ち上げ、活性化を図る。

20年後の島のために話す場を

Kentaro Tsunega
恒賀 健太郎 さん
中津市出身、37歳。地域連携研究コンソーシアム大分講師。2011年から大分県生活環境企画課でジオパークを担当。研究テーマは地域資源分野。

歩いて回る楽しさ広めたい

Takeaki Suga
須賀 猛明 さん
姫島村出身、33歳。姫島村企画振興課ジオパーク担当。大学卒業後、会社員生活を経て2010年に姫島村役場入庁。姫島の自慢は夏の海水浴。

島コンを開催したい

Masato Tokiwa
常盤 真人 さん
姫島村出身、27歳。姫島トレジャーハンター実行委員長。2009年から国東市消防署で消防士として勤務している。姫島の自慢は食べ物のおいしさ。

若い人の感覚取り入れないと

Eri Sakurai
桜井 絵理 さん
姫島村出身、44歳。姫島盆踊り指導者。伝統を残しつつ、若い人の考えを取り入れて盆踊りのにぎわいが続くことを願っている。

6次産業化後押ししたい

Seiji Kishimoto
岸本 誠司 さん
姫島村出身、40歳。姫島村水産・観光工課参事。近畿大学農学部水産学科を卒業後、1996年入庁。漁業の振興によって活気ある姫島にしたい。

自分たちが動かないと

Mitsuyuki Daikai
大海 満幸 さん
姫島村出身、40歳。漁師歴22年。「漁業を衰退させず新しいこと、新たな一歩を踏み出す」。それがこれからの姫島に必要なこと。

活性化へ手付かずの部分がある

Daisuke Watanabe
渡辺 大祐 さん
2001年入社、35歳。経済部、宇佐支局、社会部、経済部を経て報道部。地元の人たちの「島を何とかしたい」との強い思いに希望を感じました。

好きでやりたいと思うことが大事

Daisuke Kobayashi
小林 大輔 さん
2001年入社、38歳。社会部、佐伯支社、経済部を経て報道部。「この島が好き」。そんな心をピンポイントで感じました。姫島は人がアツイ!

大きく変えるスタートに

Hisao Miura
三浦 寿生 さん
1995年入社、43歳。整理部を経て同部課長。姫島の観光スポットや村の人たちの思いを見て、聞いて、知った。これから紙面で伝えていきます。

共感してくれる人を増やす

Naokazu Koira
小岩 直和 さん
姫島村出身、37歳。姫島専任隊、姫島商工会青年部長。会社員を経て造船所を継ぐため帰郷。2011年から特産品販売を通して姫島をPRしている。

頑張る人たちの背中を押す

Naoyuki Kojima
小島 直之 さん
姫島村出身、40歳。姫島村住民福祉課。大学卒業後、姫島村に入庁。島の活性化のために汗をかく人と一緒に魅力ある島づくりに取り組みたい。

何かを始めて、一歩前に

Mitsuharu Suga
須賀 光晴 さん
姫島村出身、43歳。1990年に帰郷し、姫島車えび養殖株式会社に入社。「車えびは姫島」と誰かが言えるエビを育てるため奮闘中。

後継者いないと島の未来ない

Toshiyuki Nishimura
西村 敏之 さん
姫島村出身、37歳。双国高校卒業後、漁業者の道へ進み、現在は県漁協姫島支店青年部長を務める。魚の値段が安いことを憂慮している。

ひめしまむら
姫島村

ハビカム

ミライデザイン会議

カム

人の魅力に出会える島

大分合同新聞社が、「地域やそこに住む人々とのつながりを大切に、長期的なビジョンを共有しながら一緒に地域の未来をデザインしたい」との思いで展開しているプロジェクト・ミライデザイン会議「ハビカム」。第10弾となる姫島村編が1日、離島センターやはずなどであった。古事記にも登場する古い歴史と豊かな水産資源を誇り、ジオパークにも登録された姫島村。その村の将来を担う若手リーダーと同世代の大分合同新聞社員らが分科会と総括会議で熱い議論を交わした。「水産業(コーディネーター・渡辺大祐)」「観光資源(コーディネーター・三浦寿生)」「島興隆(コーディネーター・小林大輔)」の3テーマで話し合われた分科会の内容を紹介します。総合アドバイザーは鯨本あつこ・離島経済新聞主宰、総合コーディネーターは小田圭之介・大分合同新聞社報道部長。

主催／大分合同新聞社 共催／姫島村 姫島村商工会
協賛／国立大学法人 大分大学 ㈱大分銀行 ㈱NTTドコモ九州支社大分支店 日本たばこ産業㈱熊本支店 姫島車えび養殖㈱

総合アドバイザー	総合コーディネーター
 Atsuko Isamoto 鯨本 あつこ さん 日田市出身、31歳。離島経済新聞社主宰。本名課本温子。離島情報を専門に扱うウェブサイトを「離島経済新聞」、タブロイド判「季刊リトケイ」を発行している。	 Keinosuke Oda 小田 圭之介 さん 1993年入社、47歳。整理部、社会部、湯布院支局、別府支社編集部長を経て報道部長。島の若手はとてどもエネルギーギッシュ。無限の可能性を感じました。
総括会議の様子は3月22日(土)の朝刊をご覧ください。	
ウェブ http://www.oita-press.co.jp 3D http://www.oita-press.co.jp/h-home/	

※掲載きは3月1日当分

感動を、シェアしたい。

夢を共に分かちあう。厳しさを共に実感する。

長い時間を共に過ごし、考え抜き、とことん話し合う。

それも、ひとりの行員とお客さまという関係を超え、何としてもお役に立ちたいという、

執念に近い情熱。アイデアにあふれ、期待に応える提案。

また、ひとりの人間としての信頼。そこで、はじめて、強い絆が生まれる。

やりきること。挑戦すること。諦めないこと。

そして、地域の皆さまやお客さまと、その発展・成功と共に喜び、

「大分銀行で良かった」と感動して頂くこと。

それが私たちの、感動です。

 **大分銀行**

